

## 第1回士別市立病院のあり方検討市民委員会 議事録

1. 開催日時 令和7年4月25日（金）
2. 開催場所 士別市立病院 2階会議室
3. 出席者 委員：9名（欠席1名）  
事務局他：市長、副院長、他7名
4. 傍聴者 0名（報道4社）
5. 会議内容 開会  
（1）市長挨拶  
（2）委員紹介  
（3）議題  
①委員長・副委員長の選出  
②諮問書の手交  
③委員会の目的について  
④傍聴・議事録の公表等について  
⑤市民アンケートの実施について  
⑥病院の現状と課題について  
（4）事務連絡  
（5）その他  
閉会  
※配布資料  
【資料1】市民アンケート（案）  
【資料2】士別市立病院の現状と課題  
【追加資料3】委員会の目的  
【追加資料4】傍聴要領（案）

## 6. 会議要旨

### 【議題① 委員長・副委員長の選出】

互選により、委員長に鈴木勉委員、副委員長に五十嵐紀子委員を選出。

### 【議題② 諮問書の手交】

渡辺市長から、鈴木委員長、五十嵐副委員長に諮問書を手交。

### 【議題③ 委員会の目的について】

事務局から【資料3】に基づき説明。

- ・士別市立病院の再整備基本方針決定までの全体像について説明。
- ・市長を本部長とする士別市病院事業再生本部において、令和8年3月までに決定。
- ・整備方針を決めるにあたっては、整備方法や事業収支計画、病院のあり方などについて検討をする必要あり。
- ・士別市立病院のあり方検討市民委員会では、士別市における市民目線での病院のあり方について検討、答申いただく。
- ・今後の進め方について、6回程度の委員会開催を予定し、10月下旬を目途に答申いただく。

委 員 5月22日に予定している講演の対象は、委員のみか。市民にも周知し聞いてもらった方がよいのでは。

事務局 まずは委員の皆さんに現状認識を含めて聴いていただきたい。次に予定している機会に市民にも周知することとする。

委 員 財政も非常に厳しい中で、整備にあたってはそれ相応の金額がかかる。一般会計からの支出という財政上の問題も抱えているが。

事務局 士別市病院事業再生本部、ワーキンググループにおいて、財政的な課題について精査、補助金の活用について調査、検討のうえ、お示しする。

委 員 病院は我々の健康、命を守る施設であり、入院できる施設はこの管内に市立病院くらいしかないため、なくては困るはずだ。一方、25年後の士別市の人口は8,000人と推計されているので、それに見合った今後のあり方を検討しなければならない。子どもや孫の世代に負の遺産とならないような検討をしなければならない。

【議題④ 傍聴・議事録の公表等について】

事務局から【資料４】に基づき説明。

- ・市民へ公開するためにも、要領のとおり傍聴を可としたい。
- ・議事録の作成にあたり音声を録音、議事録作成後に消去をする。
- ・議事録は要約とし、委員名の詳細は記載しないものとする。
- ・情報発信のため、議事録・資料は病院ホームページに公開し、掲載用の会議写真の撮影も許可いただきたい。
- ・病院整備全体についての「（仮称）病院かわら版」を発行し、情報発信を行う予定である。

【議題⑤ 市民アンケートの実施について】

事務局から【資料１】に基づき説明

- ・18歳以上の住民から無作為で1,500名を抽出し実施。
- ・期間は令和7年5月31日まで。5月上旬に順次発送する。
- ・紙による返信またはWebでの回答により実施。

委 員 市民アンケートを行い、答申に反映するものと考えてるが。

事務局 アンケート結果を今後の議論に反映するためのもの。

委 員 答申に向け、反映できるような形のアンケートとしたい。我々の答申がどのように意思決定に反映されたかというのが見える形としてほしい。

委 員 基本的に市民委員会で決めた方針によって、具体的な整備方針を決めるものだ。健全で持続可能な病院経営、これをしっかりと守っていける範囲の中で、どのような選択肢があるのかという議論が望ましい。

委 員 我々は検討委員会の委員なので、重要な役割を与えられている。その答申は尊重されるべきものと考えてる。

委 員 設問10などで最大3つまで回答してくださいとあるが、選びきれない。条件を設けずにチェックできるようにした方がよいのでは。

委 員 面倒くさくすると回答率が上がらない。あまり難しくせず、時間をかけさせないことも必要であり、特に3つとこだわるのが無いのであれば変更を。

委 員 3つと限定するより、複数回答可とした方が答えやすい。

- 委 員 諮問理由にもあるとおり、病院の老朽化についてどうするかということについて市民アンケートを実施するとあるが、アンケート項目にその部分が抜けている。建物自体のことについても市民の皆様から意見を集めた方がよいのでは。
- 委 員 設問 12 に自由記載できる。項目を増やすとページが増えてしまう。
- 委 員 諮問内容では建て替えや大規模改修とはっきり記載がある。この部分が抜けると、アンケートの目的が達成できないのではないかな。
- 委 員 設問 12 に、37 年が経過しているこのことに関して皆さんはどうお考えですかのような文言を追加するのはどうか。
- 事務局 最終的な整備方針は再生本部、議会の協議を経て決定する。その大前提となる基本的な病院のあり方というのがこの委員会での協議内容と位置付けているところ。
- 委 員 先ほどの複数回答にするかについて、特に重要だと思う項目を選択してもらうような記載にするのでいかがか。

(意見のとおり事務局においてアンケートを修正・実施することに決定)

#### 【議題⑥ 病院の現状と課題について】

事務局から【資料 2】に基づき説明

- 委 員 運用資金としては、例えば何年後になくなくなっている部分はあるのか。
- 事務局 3 億 7 千万円ほどあるところ、それが令和 6 年度の決算において 9 千万円程度まで減ると見込まれる。
- 委 員 今後は老朽化の部分と 2 本立てで資金繰りを考えなければいけない。
- 事務局 地方交付税措置など、有利な地方債の制度を使えるよう議論したい。
- 委 員 一般会計からの繰り入れが 9 億程度ある。
- 委 員 あまりこの財政的なことを委員会に持ち込まず、今後 20 年、30 年後にどういう病院が必要かというのを客観的に見た方が、柔軟な発想が出ると思う。
- 委 員 より大事なことは地域の市民、若いお母さんが安心して診察を受けられて、安心をもって帰ること。そのような病院にしていけるべき。
- 委 員 我々国民というのは、どの地域でも公平に医療行為を受けることができるはずである。しかし地方では医者がいらないために高度な医療が受けられない。やはりこれは現実の問題であり、このことについて我々はどのように考えていくべきか、議論が必要。